

147 回生 僕の・私の夏休み Part.1

就職試験や進学準備に追われることのない夏休み。いかがお過ごしでしょうか？

「何をして、何を感じ、何か変わったか」みなさんに聞きました。みんなの夏を載せてあげたいくらい、カラフルな夏ばかりです🌻

ぼくの夏休み 1組 A・R

初めて部活で合宿に行ってインターハイに出たチームと戦った。そこではチームの全員が基礎が完璧だったしトスもすごく早くてブロックが追いつけなかったしコースをしっかりと狙えてすごかった。そこで自分はまだまだ成長できると感じたしもっと自分もこたえられるところがあるなと感じましたそれでその後の練習をただこなすだけでなく違うところも意識しながら練習するようになりました。



部活三昧 6組 Y・M

この夏は怪我をすることなかったのが部活に真剣に取り組めました。おかげで3000mで4位と1500mで6位を取ることができ、自信に繋がりました。



やっぱり野球を愛してる 2組 T・R

この夏毎日朝から夕方まで野球漬けの1ヶ月でした。自分たちの代になったことで色々なことを試行錯誤しながらキャプテンを中心にチーム作り出来ました。みんなで協力するという意識が身につきました。



部活

私の夏休みはいつから?? 3組 M・R

夏休みは、9割が部活で休みは全部で10日ちょっとくらいしかなかったです。もちろんその10日ちょっとの間で出かけたりもしましたが、私の夏休みはいつから始まるんだろう??と感じていました。



挑戦 4組 O・Y

先輩がいなくなり始めての新チームとして練習試合や大会を何回もしてきて自分たちが引っ張る立場として今自分たちが何をしないといけないのか、どう指示を出せばいいのかを一番考えた夏だと感じました。



忙しい夏休み 4組 H・R

今年の部活はとても忙しくて野球応援や地区大会、県大会など予期せぬことが起き部活が伸びたことで去年よりも忙しくなりました。でも、忙しくなったということは去年よりも成長できたんだと実感できました。



僕の夏休みいい♥ 4組 T・Y

この夏、僕はバスケをしまくりシュートを決めまくって、達成感、優越感を感じ、バスケに対するモチベーションが上がりました！これからかみばりまっす!!



将来のことに深く考えた夏休み 5組 K・S

警察本部のインターシップに参加してまず全員初対面の中で友達をつくることから始まりコミュニケーション能力がついた。機動隊や本部に行きたくさん貴重なななしを聞くことができすごくいい経験ができた。質問もたくさんできすごく満足した。



インターンシップ

(64名の生徒が参加)

大きな分岐点に向けて 3組 U・K

インターンシップで会計事務所に行って今学んでいる簿記の実務を実際に見ることができ、この先の進路選択を今までより具体的に考えるようになった。



現場で見つけた新しい自分 7組 K・M

インターンシップで数島製パンに行って、そこでしか体験できないことや工場の現場見学で実際にパン作りをしたり、工場の中でパン作りをしたりして、手こずる部分もあったけど、企業の人が優しく声をかけてくれたお陰ですぐに慣れ、スムーズにすることが出来ました。私自身は、自分の進路や将来を決める上でとても貴重な体験をさせてもらったので、ここで経験したことを少しでも活かせるようにしていきたいと思いました。



いつもとは違う目線 2組 T・A

インターンシップでホテルに体験しに行きました。いつもはサービスしてもらった立場だったけれど今回はサービスをする立場になって仕事を体験することができました。この体験のおかげで進路の幅を広げることができました。



ボランティア



小さな行動から、大きな学びへ 3組 O・M

夏休みにボランティア活動をしました。実際に人のために行動することで、誰かの役に立つことの嬉しさや大切さを感じました。この経験を通してこれからも積極的に人のために行動してみたいと思うようになりました。

成長の夏 7組 A・H

特色学科説明会のボランティアをして、コミュニケーションの必要性を感じ、受け身ではなく、自分から動くことを意識するようになった。

ありがとうに気づいた夏 6組 K・N

初めて自主的にボランティアに参加し、人のために何かを成し遂げる楽しさを感じ、裏で支えてくれる人への感謝の気持ちがより大きくなった。

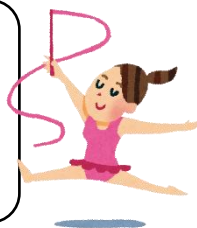


ポップコーンと夏祭り 1組 I・N

生徒会の一員として祭りのポップコーンの出店に参加しました。お昼から準備を手伝い、地域の皆さんとたくさん交流をしました。甲子園が決勝の日でそれを見ながら地域の人とお話しました。また、私は呼び込み係でたくさんの人に声をかけました。初めは緊張や恥ずかしさからできませんでした。やらないとみんなが作ってるポップコーンを食べてもらえないと思い大きな声でよびました。この経験から私は、恥ずかしくても友達が頑張っているからという理由で自分もがんばれるということがわかりました。友達がいると相乗効果で高め合えるのではないかと感じます。また地域の人とお話し交流することは大切だと感じました。

毎日コツコツと! 2組 O・Y

インターハイのボランティアに行きました。そこには私と同年の人が選手として出場していて、そのスタッフの方が「もしかすると、この大会に出場している選手の中で未来のオリンピック選手がいるかもしれない」と言っていました。私はそれを聞いて、同年の人が未来のオリンピック選手とかすごいなと思いました。少しずつ努力をしてここまで来たんだと感じました。私はこの経験を勉強や部活動に置き換えて考えたときに、毎日の少しの努力を継続していくといつか報われるという事を感じ、日々の勉強や部活動が活かしていきたいです。



防災について知り、考えた夏休み 1組 S・N

この夏、防災ジュニアリーダーの活動に参加し、実際に被災された方のお話や、地震によって起こったさまざまな問題についてのお話を聞いた。また、学校の校舎内や敷地内で避難する際に危険がある場所について調べた。活動を通して、災害が起きた時には、さまざまな場所に危険が潜んでいることが分かった。今回の活動を通して、防災について以前より知識を深めることができた。今回学んだことを今後の防災ジュニアリーダーの活動にも活かしていきたい。

充実した1ヶ月 4組 H・S

友達といっぱい遊んだけれど、進路を現実的に考えるようになった。オープンキャンパスに行ったりして自分のしたいことを現実的に考え、好きなだけでは上手くいかないこともあるということを知れた。

「好き」に自信を 5組 K・T

この夏オープンキャンパスに参加して、大学生が一生懸命学んだり、研究して、それを楽しんでいるということを知って、「好き」という思いは自分に可能性を持たせてくれるものなんだという考えに変わりました。



遊ぶだけじゃない、考える夏 5組 K・R

私は将来のことについてしっかり考える夏にしようと思ってオープンキャンパスや就職についても考えました。やっぱり自分で行ったり体験することが大事だと思いました。

オープン キャンパス



学校のモチベーションについて 7組 K・S

夏休みのオープンキャンパスを通して今県商でやっていることが大学のアドバンテージになるという事を感じた。よって学校に登校するのと県商の学びに対するモチベーションが上がった。

3年後が楽しみ 3組 I・T

僕はこの夏、オープンキャンパスに参加して自分の考えの甘さがわかりました。僕は夏休み前に英検と簿記の検定を取得でき去年より大学に対して楽観的になっていました。でも自分のレベルと行きたい大学を比較した時、全然レベルが違い、実際のオープンキャンパスでも高校から大学に変わるだけで規模が違うこと知りました。夏休みが終わったらこれまでよりいっそう気を引き締めて検定取得を頑張りたい。

